

はくほう Walker

広報誌名「はくほうWalker」
はくほう会セントラル病院は地
域住民や患者様と共に歩むとい
う想いが込められています。



No.13

今年の新入職員

診療科紹介: 整形外科

部署紹介: 診療情報課

特集:
病院機能評価の受審

写真は6月末に導入したウェルウォークWW-2000(リハビリの歩行支援ロボット)です

今年 の 新入職員



(医局)



外科 田中宏典先生

6月より勤務させて頂いています田中です。
腹部症状などある方は気軽にご相談ください。



皮膚科 田原純平先生

皮膚のトラブルなどあれば
ぜひ、ご相談ください。



リハビリテーション科 行岡和彦先生

患者様がリハビリテーション治療により、
運動機能の改善と共に全身の健康状
態も改善されて、御自身の日常生活に
戻ることができるように、精一杯のご援
助をさせていただきます。



(地域連携室)



早く慣れるように頑張ります！
よろしくお願いします！

(臨床検査部)



明るく元気に頑張ります！
先輩方を目標に精一杯頑張ります！
よろしくお願いします。

(放射線部)



患者さんに寄り添い満足して
いただける診療放射線技
師を目指します。

(臨床工学部)



一つひとつできることを増
やして頑張ります

(リハビリテーション部)

東棟・訪問



やる気と笑顔の
一年に！！

中央3階



力いっぱい全力で
頑張ります。
パワー！！

中央4階



まだまだ未熟ですが
先輩の背中をみて
頑張ります。

中央5階



ひたむきに
頑張ります。

(看護部)

中央3階



頑張ります！

中央4階



いろんな知識を深めてい
きたいです！

大変なこともあります、
頑張っていきます。

中央5階



一生懸命、
頑張っていきます。

患者にLOVEある看護を
していきます



東2階



患者様の笑顔と感謝の言葉
が励みになっています！

新しく学習する事ばかりです
が、自分のペースで頑張っ
ていきます。

東3階



退院支援など幅広い
ことを経験出来て、
日々やりがいを感じ
ています。これから
もよりよい看護を提
供できるように頑張
りたいです。

東4階



新しい事へのチャレンジ
精神をもち、頑張りたい
と思っています。

患者さんの心に寄り
添った看護を提供して
いけるよう頑張ります。

これからよろしくお願いします！！



病院機能評価受審しました！

病院機能評価とは・・・病院機能評価機構が中立的・科学的・専門的な見地で提供される医療について評価を行い、病院の質改善活動を支援するツールです。
一定の水準を満たすと【病院機能評価によって質が高いと認められた病院】となります。

5/16,17: 本体調査（急性期・地域包括ケア病棟）、副機能（回復期）

病院説明



病院概要や取り組みについて院長が説明しました。

ケアプロセス

患者様への
治療や看護等の説明を
行いました。



ラウンド

各部署を回り、質疑応答がありました。



5/31: 高度・専門機能 リハビリテーション（回復期）

高度・専門機能とは・・・より充実した機能を評価するために検討した新たな審査体系で、リハビリテーションにおいて**本体調査**より高い水準であることを示しています。

ラウンド

リハビリテーションに関わる部署を回り、日ごろの業務や取り組みについて説明しました。



ケアプロセス・カンファレンス



患者様の希望や目標に対し、各職種の役割と目標を
実際のカンファレンスを通して
説明させていただきました。

2020年に受審予定であった病院機能評価ですが、コロナによって3度の延期が生じ、ようやくこの日を迎えることができました。3年間の準備期間は当院の質を高める期間となり、評価委員の方々からは多くの高評価をいただくことができ、嬉しく思います。様々な課題も明確化し、当院の医療の質を高めるにあたって取り組むべき方向性が定まりました。

また、高度・専門機能（リハビリテーション）の認定を受けている病院は全国的に30施設しかなく、当院も認定されれば、全国的にリハビリテーションが高度・専門機能を有していると評価された事になります。

認定が得られ次第、ホームページ等を用いて発信してまいります。

整形外科紹介



稲荷Dr 高田Dr 浜脇Dr 川津Dr

整形外科とは

当院の整形外科は4名の医師により診療にあたっております。

骨、関節、筋肉、神経などに原因がある痛みやしびれ、動作の障害などに対し診断治療を行う診療科です。

当院では外傷（骨折や脱臼など）、関節疾患（肩関節周囲炎や変形性関節症など）、脊椎疾患（椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症など）、関節リウマチ、骨粗鬆症など整形外科全般の診療を行っています。

外来について

当院では転倒などをきっかけに手足や腰の痛み、生活の不自由を訴え整形外科外来や救急外来へ受診されています。レントゲン検査や、CT・MRI検査なども適切に実施し、早期に正確な診断を行い適切な治療方針を提案できるよう努めております。

リハビリについて

ご高齢の方で多く見られる足の付け根の骨折（大腿骨近位部骨折）や手首の骨折（とう骨遠位端骨折）などの骨折に対しては、その後の不自由が大きくならないよう積極的に手術を検討しています。できるだけ早期の手術実施を心がけ、その後のリハビリテーションにおいても整形外科およびリハビリテーション科による十分な期間のリハビリテーションを提供しています。

人工関節置換術について

当院では以前より変形性股関節症や変形性ひざ関節症といった軟骨がすり減り関節の骨が変形することによる痛みや動作の困難、生活の制限に対し人工関節置換術（人工股関節置換術／THA、ないし人工ひざ関節置換術／TKA）を実施してまいりました。これら人工関節置換術は変形性関節症の症状に対し痛み止めの使用や運動、移動の制限により症状を軽減する保存療法と異なり、治療によりこれまで困難であった動作ができる利点があります。また、外出や旅行などのレクリエーションをはじめ、生活の制限が少なくなるといったことも大きな利点となります。

ナビゲーションシステムの導入

また本年より人工関節の手術の際に用いるコンピュータナビゲーションシステムを導入し、変形の強い症例などにもより正確な手術を安全に実施できるようになりました。

入院期間について

近年保険制度の変更などにより、人工関節を実施する多くの病院では2週間から3週間の入院療養となることが多くなっていますが、必ずしもすべての方が不安なく退院を迎えられるわけではありません。地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟のある病院へ転院し、入院療養を続けられる方もいらっしゃいます。

当院はそれらの病棟機能も有しており転院などの手続きを必要とせず、個々に必要な期間のリハビリテーションを入院で実施しております。痛みやしびれ、関節の症状などが気になる方は是非当院の受診をご検討ください。



整形外科診療担当表

曜日	午前診①	午前診②	午後診
診療時間	9:00～12:00		14:00～16:00
月曜日	高田医師	稲荷医師	
火曜日	川津医師	稲荷医師	
水曜日	浜脇医師	—	
木曜日	高田医師	稲荷医師	
金曜日	川津医師	浜脇医師	川津医師
土曜日	高田医師	—	

※変更になる場合がございます

診療情報課

患者様を**第一**に考えて

新 **受付**をスムーズにご案内できるよう
新しい機械が導入されましたのでご紹介いたします



AM8: 30受付Start!

《《再来機がリニューアル

玄関へ入ってすぐ目の前に再来機が
設置され、画面が大きく
見やすい機械になりました☆
操作もボタン一つで簡単に受付が
できるようになりました！

保険証check!



マイナンバーカード導入》》

マイナンバーをかざすだけで簡単に
チェックできるようになりました！

使い方が分からない場合は
しっかりサポートさせていただきますので
お気軽にお声かけ下さいね

精算はこちらへ



《《自動精算機の導入

会計窓口とは別に患者様ご自身で
精算できるようになり
バーコードをかざすだけで簡単に
操作ができるようになりました
待ち時間も少なくご利用頂けます☆

病院ホームページのご案内

はくほう会セントラル病院では、ご利用いただく全ての方々に、見やすく、分かりやすく情報をお伝えできるように、ホームページ、SNSを随時更新しております！また、日々更新、最新情報を掲載するように努めています。



はくほうかい

<http://www.amahakuho.jp/>



スマホをお持ちの方はQRコードから

LINE 公式アカウント



facebook

(Facebook, Inc.)



地域の医療を支える仕事
一緒に働いてみませんか

職員募集中！

看護師・管理栄養士・社会福祉士・介護員
などなど多くの職種・お仕事があります！

詳細はホームページをご覧になるか、直接お問い合わせください。



おせっかいが世界を変える

おせっかいにはありがた迷惑とも言われますが、
相手に喜んでほしい、
何かしてあげたいという行動です。



プラスハートアクションとは
「お手伝いをする、したい人」にマークがあれば、「助けを必要としている人」と「お手伝いをする、したい人」がお互い声をかけやすくなり、助け合いが当たり前になる世の中を作っていくと発案された運動であり、信頼・調和・ゆらぐことのない愛を意味する♥をシンボルとしています。

私たちは、マスクに♥をつけてこの運動を発信しています。

広報誌アンケート

広報誌をより良いものにするために、
皆様の声をお聞かせください。
ご協力よろしくお願いします。



【編集後記】

コロナが5類となり、今と過去を比べてみると3年前ではなかった世界が現在では当たり前になっていることに時代の変革を感じます。在宅ワークやキャッシュレス、オンラインショッピングはすでに多くの方が日常の中で行われているのではないのでしょうか。最近ではネット上の仮想空間でもう一人の自分が生活することができるといった漫画のような現実が出来上がっていて、ぜひ試したいところあります。

デジタル化の進歩と言えばChatGPTやマイナンバーカード等、様々な議論がありますが、安全や正確性が得られればとても使いやすくなるものだと思います。医療はまだデジタル化が遅い業界と言われていて一方で、職員の大多数が若い職員であり、色々な発想によってデジタル化が進んでいけば、医療の質の改善にもなるのではないかと思います。小学生がプログラミングを行う今、あと10年後にはまた違う世界が広がっていると想像すると、広報の形も変えていく必要があると委員会一同考えているところなので、新たな形での提供を楽しみにしていただきたいと思います。

はくほう会セントラル病院 広報委員会

再エネ100宣言
RE Action

RE Actionは、2050年までに再生可能エネルギーで
事業のエネルギーの100%を賄うという取り組みです。

伯鳳会グループは、全国の医療業界からただ一つの
スターティングメンバーとして、この取り組みに参加しました。

訪問薬剤指導・訪問栄養指導を開始しました。

ご相談がある方は、

06-4960-6820(地域連携室直通)
にご連絡ください。



医療法人伯鳳会
はくほう会セントラル病院
兵庫県尼崎市東園田町4丁目23番1号
TEL : 06-4960-6800 (代表)
FAX : 06-4960-6900